



## 読書名人への道



「おとうさん パパ おとうちゃん」 みやにしたつや 鈴木出版  
ぼくの「おとうさん」は、おしごとしている ときには  
「げんばかんとく」ってよばれてる。  
わたしの「パパ」は、おしごとしている ときには  
「せんせい」って よばれてる。  
おしごとしている ときには、きりりと すてきに  
へんしんする たくさんの おとうさんが でてくるよ。  
こんどの にちようは ちちのひ。

「のんきな りゅう」 ケネス・グレアム 徳間書店  
男の子が、心のやさしいりゅうと、友だちになりました。  
でも、おそろしいりゅうがいると知った村人たちは、  
大さわぎ。  
ついに、りゅう退治の騎士、聖ジョージがやってきます。  
なんとかりゅうがころされないように、男の子は、  
ジョージと話をしてみるけっしんをします。

「ぼくらのサイターの夏」 笹生陽子 講談社  
「階段落ち」ゲームがはやっていた。勇気を出して、できる  
だけ高い段から、飛び降りた人が勝ち。  
7段は楽勝。8段は失敗することもある。なのに、あいつは、  
だれも飛べなかった9段を、涼しい顔で飛んで見せた。  
ぼくはカッときて、気づいたときには、地面に落ちて大けがを  
していた。おかげで、ゲームにかかわった全員が、先生から  
大目玉を食らって、罰を受けることになったのだけど・・・。

### あとがき

「赤毛のアン」を知っていますか。孤児院から引き取られた少女アンが、  
泣いたり笑ったり、騒ぎを巻き起こしたりしながら成長していく物語で  
す。作者のルーシー・モンゴメリが「赤毛のアン」を発表して、今年で100  
年。今読んでも、そのおもしろさ、みずみずしさにはとします。

